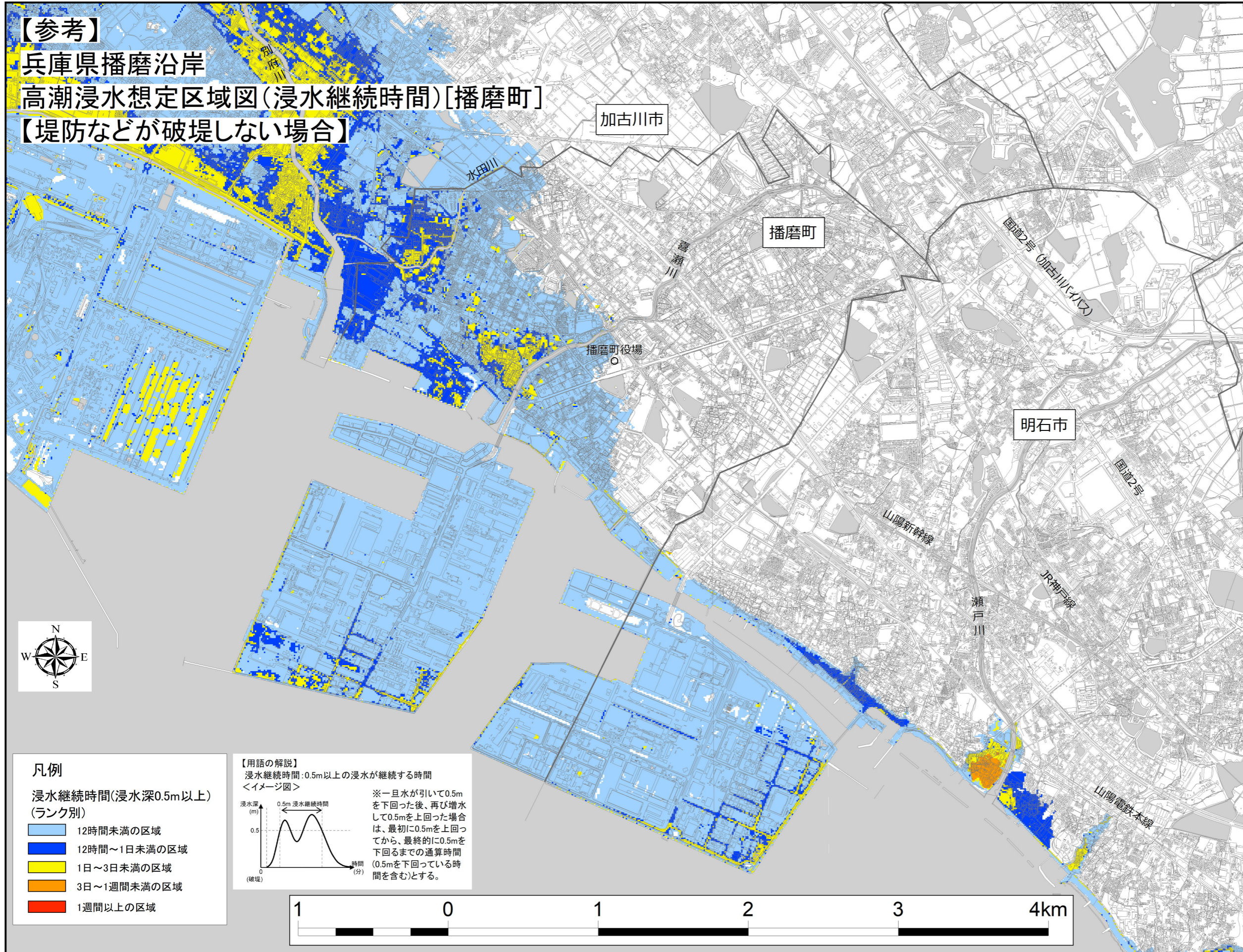


【参考】

兵庫県播磨沿岸  
高潮浸水想定区域図(浸水継続時間)[播磨町]

【堤防などが破堤しない場合】



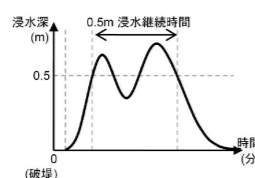
凡例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)  
(ランク別)

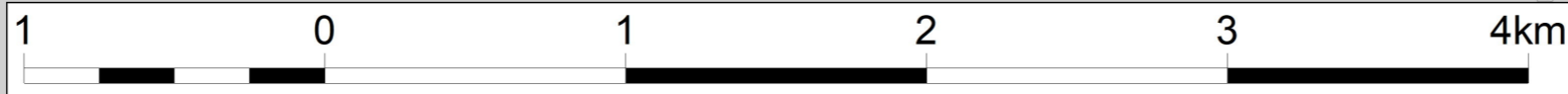
- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1週間以上の区域

【用語の解説】

浸水継続時間:0.5m以上の浸水が継続する時間  
<イメージ図>



※一旦水が引いて0.5mを下回った後、再び増水して0.5mを上回った場合は、最初に0.5mを上回ってから、最終的に0.5mを下回るまでの通算時間(0.5mを下回っている時間を含む)とする。



【留意事項】

1. 説明
  - (1) この図に関する詳細な説明については、「兵庫県播磨沿岸・淡路沿岸高潮浸水想定区域図について(説明資料)」をご参照ください。
  - (2) この図は、播磨町沿岸において、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、兵庫県内において想定される浸水の継続時間を表示した図面です。浸水継続時間については、高潮による浸水の状況を複数のケースでシミュレーションを実施し、それらの結果から、各地点において最長となる浸水の継続時間を表示しています。
  - (3) この図はハード対策では守れないような最大規模の高潮に対する危機管理、避難警戒体制の充実を図ることを目的としており、今後のハード対策に資するものではありません。
  - (4) 高潮浸水想定区域図(浸水継続時間)をご覧になる際には、次の事項にご注意ください。
    - これまでの海岸保全施設や高潮の影響を受ける河川施設の整備状況等を踏まえたものであること
    - 想定し得る最大規模の高潮となる台風を想定していること
    - 河川による洪水及び波浪の影響を見込んでいること
    - 堤防等が破壊しない場合を想定していること(設計外力以上の外力が発生しても、施設の安全性が確保されているということではありません)
    - その後の海岸保全施設等の整備の状況や土地利用の変更、地形の改変等により、浸水継続時間が変わる可能性があること
    - 現在の学術的、科学的な知見により作成したものであること
      - ・高潮浸水シミュレーションは、解析精度等の制約から、予測結果には誤差が存在し、再現できる現象にも制限があります。
      - ・現在の技術的な知見に基づき、既往最大規模の台風をもとに、想定し得る最大規模の高潮による浸水の状況を数値計算により推定しましたが、実際には、これよりも大きな高潮が発生する可能性もあります。
    - この図面作成以降に、数値の精査や表記の改善等により、修正する場合があること

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 兵庫県
- (2) 作成年月 2022年 6月
- (3) 対象となる海岸  
明石市から赤穂市(岡山県境)